



会報

WEEKLY REPORT

世界に希望を生み出そう

2023-24 R.I.会長

ゴードン.R. マッキナリー

第2500地区第6分区帯広北ロータリークラブ

会長/石岡 幸雄

副会長/萩原 敬一郎

幹事/南出 雅樹

[四つのテスト]1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第3083回 例会報告

2023.8.4

●例会日/金曜日 (12:30~13:30)
●例会場/ホテル日航ノースランド帯広
●事務局/帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F
TEL 0155-25-7347

- 点鐘 石岡 幸雄 会長
- 国歌斉唱
- ロータリーソング (四つのテスト)
- ゲスト紹介 石岡 幸雄 会長
 - RI第2500地区 ガバナー 鶴見誠一郎 様
 - 地区副幹事 山本 大将 様
 - 第6分区 ガバナー補佐 田中 義博 様

■8月誕生祝

- 佐藤 三幹 会員 S30.8.22 一宮 綾子 会員 S50.8. 7
- 鈴木 正孝 会員 S30.8.24 松岡 真勝 会員 S50.8.31
- 深井 弘美 会員 S32.8.26 夷石 行夫 会員 (栄子様) 8. 1
- 川端 正幸 会員 S39.8. 8 稗貫 秀次 会員 (アツ子様) 8. 5
- 石岡 幸雄 会員 S39.8.13 火ノ川好信 会員 (圭子様) 8.29

■バースデーソング

■乾杯

■会食

■会長挨拶

石岡 幸雄 会長



皆さんこんにちは。本日は鶴見ガバナーをお招きしてのガバナー公式訪問例会です。例会前に会長懇談会と意見交換会をさせていただきました。例会終了後は、大谷高校に伺い、インターアクトの懇談会も予定しておりますので、よろしく願いいたします。

先週の夜間例会ですが、欠席して申し訳ありませんでした。まさか自分がコロナウイルスにかかるとは思っていませんでした。家族に移してはまずいと思い、ほとんど症状はなかったのですが、病院に5日間入院させていただき、無事回復しております。萩原副会長、代役ありがとうございます。最近、関口会員もかかりましたし、うちの社員も先週3名かかっておりますので、みなさんも気を付けてください。

今月は、会員増強の月間になっております。先ほど、理事会の中で、新入会員のご紹介がありましたので、新たに仲間が増えて、9月から64名になります。今後も会員増強へのご協力よろしくお願い致します。

さて、最近のニュースで話題なのは、ビッグモーターの事ですね。内容は皆さんよくご存じだと思いますが、社長が会見して退任しても、ぜんぜん収まらない状況です。今回の社長はロータリアンではないようですが、2007年のミートホープ事件(食肉の偽装表示)の時は社長がロータリアンだったので、職業倫理につ

いて話題になりました。ロータリーで最初に職業奉仕の理念について提唱したのは、アーサー・フレデリック・シェルドンです。彼は、「われわれの職業は、金儲けをする手段ではなく、その職業を通じて社会に奉仕するために存在する。」と語っています。私たちの2500地区では、浜中ロータリークラブの道下パストガバナーが、職業奉仕では有名です。合田ガバナーの時、私は地区の副幹事で道下パストを乗せて運転した事がありますが、その時にロータリーでも、損得ではなく善悪で判断しなさいと。最近では、職業奉仕を軽視する動きもあるようですが、私は、ロータリー以前に、社会人として大切な事だと考えております。

以上で会長挨拶を終わります。

■会務報告 南出 雅樹 幹事
帯広北RC、8月11日(金)は、祝日のため休会と致します。
帯広北RC、家族野遊会開催のご案内

日時 8月19日(土)午後5時

場所 帯広競馬場 焼肉ハウス「れんが」

※尚、8月18日(金)の繰下げ例会と致します。

■帯広北RC、夜間移動例会開催のご案内

日時 8月25日(金)午後6時30分

場所 ジグザグ ※アルコール無し・お弁当

■ニコニコボックスの発表 萩原敬一郎 副会長
感謝

RI第2500地区ガバナー 鶴見誠一郎 様

鶴見ガバナーようこそ。また久しぶりの出席になってしまいました。

細川 吉博 会員

平原まつりの盆踊りに北電として約2年ぶりに出場します。総勢70名で出ますのでよろしくお願い致します。

高橋 章 会員

暑中お見舞い申し上げます。

長谷川道正 会員

誕生日に記念品を頂き有難うございました。

松岡 真勝 会員

誕生日に記念品を頂き有難うございました。

石岡 幸雄 会長

誕生日に記念品を頂き有難うございました。

佐藤 三幹 会員

7月のゴルフ例会優勝しました。

村上 道隆 会員



■プログラム

【 ガバナー公式訪問 】



RI第2500地区ガバナー 鶴見誠一郎 様
こんにちは。紋別港ロータリークラブから参りました鶴見 誠一郎と申します。

本日はどうもありがとうございます。わたくしのほうから少しだけ、提案も含めた単なる国際ロータリーのメッセンジャーということではなく、私の熱い思いを伝えさせていただくために本日伺いました。あまり時間もございませんので、一部気合をいれまして25ページのスライドをつくってききましたけれども、時間も残されておられませんので、一部省略させていただくところもありますが、なにとぞご了承くださいたいと思います。

スクリーンをご覧ください。まずは諸先輩方へ感謝という事で、ロータリークラブを創立また発展いただきました諸先輩方、また、今日までロータリークラブを守っていただきましてあつくお礼申し上げます。ありがとうございます。また、わたくしが、今年度地区ガバナーを務めさせていただきますこと、そして、本日この公式訪問例会の場を設けていただきました、貴クラブの皆様本当にありがとうございます。調整、準備、等々手配大変だったと思います。厚くお礼申し上げます。ありがとうございます。私にとって帯広北ロータリークラブ様と、2名のファストガバナー様をはじめ日頃より私のような若輩者に暖かく接していただき、また、ご助言、ご指導くださいます会員の皆様が多数ご在籍しておられます。いつも本当に感謝のクラブ様でございます。今年度会長はゴードンアルマ・キナリー氏というスコットランド出身の歯科医師でございます。皆様ご存じのように、クリエイティブインザワールド、世界に希望を生み出そうをテーマに挙げています。経緯ですが、新型コロナウイルスそして自然災害の頻発、ロシア・ウクライナなど、世界にわたる疲弊、不幸に陥っているところからの一刻も早く脱却しないとイケない、これには希望がカギであるというところからテーマがきまったと聞いています。そこで、皆さまご存じの通り、地区のスローガンは今こそ変わる勇気をさあ一歩前へ。ということで、この変わるというところについては、今までのロータリーを否定するものではございません。私どもの運用地区を否定するものでもありません。今、何かを考えたときに、未来の為に何かを変える必要があると考えたわけです。いまこそ変わる勇気を一歩前へ。と決めさせていただきました。また、同時に地区の活動方針につきましては。行動することに意味があるとさせていただいております。やはりどんなにロータリーのことを知っていても、行動しないと結果が生まれません。成果が生まれないと意味しております。人間は比較的マイナスイメージいからはいる生き物だといわれております。そこで最初からだめだと決めつけずに、最初からプラス思考に考えていただき、また、時には発想を転換していただき、自分を信じてまずは行動していただ

きたいと思います。クラブ協議会についてご説明させていただきます。私どもの地区としましては、クラブ協議会公式訪問の時に行わせていただくというのが慣例となっております。そこで、私のほうでいろいろと調べ、また、ほかの同期のガバナーとお話しさせていただきましたが、ほとんどの地区が前年度のうちにガバナー予定者の方が関与進行し、前年度のうちに終了し7月1日からのスタートを一斉に切っていただくという方式を採用していると突き止めました。また、アールワイ会長、そして、わたし、クラブ会長エレクトロ様、前年度のうちに準備を終わらせるのに、どうしてクラブ様だけ準備をするのか疑問をもっていました。公式訪問につきましては、7月上旬に行うクラブと9月末に行うクラブとでは、2月半差が生じます。新年度としてのスタートも2月半差が生じてしまうという心配がでてきます。そこで今回このような方法を採用させていただき、今年度で終了するものでもなく、次年度、次次年度も同じ方式を採用してもらうという共通認識を得ているところですので皆様引き続きご理解をよろしくお願いいたします。昨年11月に私共ガバナーエレクトロ事務局からすべてのクラブ様へヒアリングシートを発送させていただきました。クラブ様について教えてくださいという内容でした。また、今年度から事前にガバナー補佐予定者がクラブ様へお伺いして教えていただいたものについて、私にレポートとして報告をいただいております。また、本日製本化していただいている活動計画書も隔々まで拝見しております。それをもとに資料化しているものを示させていただきます。地域の強味を教えてくださいというなかで、農業、酪農、観光、花火という事を教えていただきました。そこで、これだけの強味がある地域ですのでのさらなる発展をめざしたロータリーにおけるクラブ残しができるだろうか。というご提案をさせていただきました。クラブの特徴、特性、長所、取り組みなどを継続的に情報を発信しつづけてみてはいかがでしょうか。地元が重要でございます。地元の地域を中心に、ロータリーの楽しさをわかっていたくような行事の開催等を少しづつ範囲を広げながら実施していただくのもどうでしょうか。いろいろな機会などを探っていただけたらと思います。よそのの私が勝手なことを申し上げて申し訳ございませんが、2つの例をあげてみました。例えば地域のイベントでロータリーのブースを出展してみる。であったり、ロータリー〇〇コンテストのようなものを地域でやってみるといのもいかがでしょうか。より多くの人にロータリーを知ってほしいと思います。そこで、やはり、ロータリアンが輝いていなければならないと思います。私たちの活動というものを、多くの人に知っていただきたい。そこで、今この会場にお集まりいただいた皆様は地域の経済人ばかりです。少しい方は失礼になりますが、選ばれしものが集結していると思っています。同時に、すごい力が集結しているとも思います。そこでまずは、地域住民がロータリーを体



感できるような力を発揮していただけたら幸いです。行事やイベントでロータリーブースなどを設けて、展示、来場者がロータリーを体感していただくような空間を作ってみるのはいかがでしょうか。一緒にやろうというような思いを率直につたえてみてはいかがでしょうか。仲間を増やす為に自分を飾ることなく率直に思い気持ちを伝えるということが大事なような気がします。クラブ残しには必要なことだと思います。ブースのロータリーにおける体験につきましては、イベントなどの設定をしなくてはなりません。また、ブースの目的も明確にしなくてはなりません。展示物の準備も必要です。ブースのデザインも重要です。また、来場者に説明をする対応者の設置。これも忘れてはいけません。コミュニケーションの強化、興味を持ってくれた人に多くの情報を伝えるという事も重要です。そこで終わってはいけないのが、フォローアップです。終了後も興味を持った人にロータリーの事を情報としてお伝えしていくということが大事です。そこで、知名度向上の為にロータリー〇〇コンテストのようなものを実施するのはいかがでしょうか。ここでもやはり、目的とテーマというものを決定するのも重要です。また、ルールと条件を設定。そこからお金がいくらかかるのか。予算の組み立てが重要です。また、応募の方法、締め切りについても決めていただき、審査員も選定しなくてはなりません。では、どういう風にやるのがいいのか決まったときには、プロモーションと広報。これが必要不可欠です。

さて本番です。オンライン、オフラインのイベントがあるなかで、会場問わずどのようにこのコンテストを実施していくのか、ここは自由に皆様でお考えいただくというのがよいかと思います。最後はコンテストですので、結果発表と表彰というもので皆様に競い合ってください。貴クラブにおかれましては、ロータリー財団、米山記念奨学会につきましてはすでに理解を示されて支援いただいていると思います。ありがとうございます。そこで、当地区につきましては、若干苦手なところとしては、ポリオプラスなのかなと思います。そこで、皆さまにご相談があります。ポリオプラスに理解を深めてクラブ内で情報を共有してみるのはいかがでしょうか。ロータリー財団が掲げている寄付の目標額を皆様知っているのでしょうか。10月24日はポリオデーと決められております。地区として今、イベントを計画中です。内容が決まったときには皆様にお知らせいたしますので、積極的にご参加いただきたいと思っております。また、この例会場を拝見したなかでは、エンドポリオナウのロゴ、旗が掲示されていません。決して強要、強制しているわけではございません。この、ポリオプラスにつきましても、会員様の士気を高めていただくためにもエンドポリオナウの旗を例会場内に掲示していただくと皆様の関心、士気が高まるように思います。会員の維持、出席率向上、会員の増強については、私共のヒアリングの回答として一緒に考えてまいりたいとご回答いただいたものでござ

います。会員のニーズや、関心を把握することが必要です。会員の声を聞いていただき、クラブ活動や方針に反映していくことで、会員の皆様の満足度、参加意欲が高まっていくのではないかと思います。多様性を尊重してみてください。年齢や性別、職業、文化の違い問わず、様々な人をクラブの例会等に招致していただいて視点などを尊重しつつ、クラブの活力や魅力を高めていってはいかがでしょうか。メンターシップを提供する自クラブ、他クラブ問わず経験豊かな先輩が日常的な温かいフォロワーが必要という風に思います。多様性で様々な例会を実施してみるのはいかがでしょうか。慣例や慣行だけにとらわれない会員が出席しやすい例会を行いというのも大事なこともかもしれません。女性と若い法人の入会の促進、若い会員様や、女性会員がいるということを知っていただくということでも入会への関心が高まり、また、クラブの奉仕活動へも注目が集まるのではないかと考えます。先ほども伝えましたが、認知度の向上、行事というのも必要です。こちらから勧誘するというのも必要ですが、むしろロータリークラブに入会したい、もしくは入会方法を知りたいと思ってもらえる行事をするというのもどうでしょうか。アンケート、ヒアリングのなかで、やはり今後のクラブ全体の高齢化に備えなくてはならないのでは。という回答を頂きました。そうした中でやはり長く在籍していただいて、そのうえでどの年代の会員様にも積極的にクラブに参加していただく空間・環境が必要というように思います。クラブのサポートを会員の皆様に、相互にしていくということはいかがでしょうか。意欲の継続、いつまでもロータリークラブに参加したいというふうに思っただけの会員の皆様がそれぞれ得意分野の経験を活かした役割を担っていただく。コミュニケーションの活発化ということで年代問わずコミュニケーションを促進していただき、交流の機会を増やしていただく。柔軟な活動形態の提供ということで、皆さまの負担をできるだけかからないような例会ならびにロータリーの活動をしていくということも考えていかななくてはなりません。

地域との連携、健康の不安があるときに支援していただけるような組織や福祉施設と連携するというのも検討してみるのはいかがでしょうか。感謝と認知ということで会員の皆様お互いに感謝の気持ちを伝えあう、それにおいてなにか飛び出たいいものがあつた場合には表彰するなどいいのではないかと思います。時間がございませんので、省略させていただきます。前年度、DAE推進委員長として地区としては大谷ガバナーエレクトが就任しております。あくまで大谷ガバナーエレクトに承諾いただいて（画面上に）表示させていただいております。これは私の勝手な思いであります。私共がよくわかりにくいと皆様に言われます。私なりに日本語で解釈をかえたものであります。多様性というのは、自分がいままで理解し受け入れてきたものの、範囲を広げてみる。という考えではなからうかと思っております。自分のストライクゾーンを今までよ



り大きくしてくださいという意味です。公平さというものは別に同じものを皆様に提供するのは公平だといえるのでしょうか。という部分で、たとえば、パラリンピックの選手を見たときに、器具装着すべきものがそれぞれ違います。すなわち同じものを選手に提供しても使える物と使えない物がある。これが公平なのか。という事です。必要なものを必要としている人に必要な分だけ提供できるというのが真の公平ではないのでしょうか。包摂性ということで思いやりを持って仲間として受け入れてください。私が要約した勝手な解釈ですが、DEIとは目配り気配り心配りだと私は思います。地域の貢献として私は素晴らしいと思っているのが十勝ロータリー奨学会でございませぬ。また、青少年や若者を支援する事業も皆様いくつもやられていると思います。そこで、青少年と向き合うということも必要なことです。今、若者と向き合うときにロータリアンのちょっとした言動を勘違いしてとられてセクハラとかパワハラというように騒がれることがあります。そういうことを起こさないためにも気を付ける必要がありますが、日本のガイドライン。とくにロータリーのガイドラインをみても、勘違いを受けて悪者になってもロータリアンを救済できるようなガイドラインにはなっておりませぬ。そこでやはり最終的には出た問題を解決すべく時を迎えたときには弁護士さんや、最悪訴訟ということを迎えると思います。そういった費用を捻出するためにも事業を行う時にはなんらかの保険におはいいらいたくというのがいいように思います。ご寄付に対する私の勝手な思いでございませぬが、私は入会当時から寄付は、志だからしてもしなくてもいいだろうと。ロータリー財団はお金集めのことばかり考えているよね。といわれました。私は違うと思いました。志だからこそ前向きにお考えいただきたい。寄付という言葉だから抵抗がある。お金を取られるというイメージで、寄付というより、支援。という言葉に変えてみるのもいいかと思ひます。心理的ハードルが下がると思ひます。奉仕の理想に集いし友よ。と皆様ロータリーソングを歌われます。直接的な奉仕が難しいようであれば直接的に奉仕ができるものに隠していただいて、活動費を支援するというのも一つの方法だと思ひます。ロータリー財団は年次基金100ドル寄付なんて言葉が合言葉でありましたが、今は3年ほど前から年次基金は150ドルというように目標はなっております。ポリオプラスは30ドル。これは皆様知らない方が多いでしょうけど、これは今まできちっと

地区のほうで皆様に伝えていなかったもしくは伝え方が不十分だということで、こちら側も反省しております。大変申し訳ございません。今は3年ほど前よりこの目標額となっております。一括で考えると180ドル、日本円でいうと2万3千円程度になります。一括で考えると高いです。ですが、ひと月で考えると2千円。1日あたりでいうと65円の負担。これで目標が達成できるのでないでしょうか。最後でございませぬ。皆様へお知らせということで、ポールサイスソサエティというものがあります。毎年1,000ドルの支援、ご成約をいただくことで財団から認証が得られます。最近できたポリオプラスソサエティ。毎年です。100ドルの支援をご成約いただくことで認証得られることができます。また、今回7月1日付けで国際ロータリーの理事会で次の事を決定いたしました。ロータリーの用語の中で研修というのは使えなくなりました。ラーニングになります。リーダーという名称も使えなくなりました。ファシリテーターという呼び名に変わります。従いまして、貴クラブにいらっしゃいます研修リーダー様におかれましては、クラブ・ラーニング・ファシリテーターと名称が変更となるということで、次年度の計画書に反映していきたくと思ひます。駆け足で一方的に話をさせていただきましたが、私なりのあつい気持ち、思いを皆様にお伝えさせていただきました。引き続き一緒になって皆様と取り組んでまいりたいというふうにお思ひしておりますので引き続きよろしくお願ひいたします。本日は本当にありがとうございます。



■次週のプログラム予定

「休会」

■閉会宣言

■点鐘

石岡 幸雄 会長

例会案内

〈月曜日〉 広尾RC:日高信金広尾支店 〈水曜日〉 帯広RC:ホテル日航ノースランド 〈木曜日〉 足寄RC:足寄銀河ホール21
 帯広南RC:北海道ホテル 上士幌RC:川村福祉会館 清水RC:清水町中央公民館
 〈火曜日〉 芽室RC:めむるーどセミナー 音更RC:ハビオ木野 帯広西RC:北海道ホテル

■出席報告/長谷川道正 出席委員長

会員数	計算に用いる 会 員 数	ホームクラブ 出 席 数	メイクアップ	欠 席	出席率